

親切・思いやり

春から夏へと移ろっていく、今日この頃。暖かく穏やかな、そして時折暑い日差しを感じるようになりました。みなさん、五月病になることなく、元気にお過ごしでしょうか。新年度スタートから一か月、疲れも溜まっていることと思います。

そうした中、先週、5年2組で釜木先生の道徳の授業がありました。今回の授業のテーマは「親切・思いやり」です。最近誰かに親切にされたり、親切にしたりしたことはありますか。私はよく行くコンビニで、会計を終わらせた際、店員さんに「ありがとうございました。行ってらっしゃい。」と声をかけてもらったことが印象に残っています。これから出勤するといふときに、「行ってらっしゃい」と言葉をかけてもらえるとなんだか温かな気持ちになりました。

みなさんはどうでしょうか？身の回りには、気付きやすい「親切・思いやり」があれば、誰にも気づかれないけれど、知らず知らずのうちに支えられている「親切・思いやり」もあります。身の回りにある、いろいろな気持ちに気付いていけるようになりたいと思いました。



授業を真剣に受けている5年2組のみなさん

今回の授業では、「親切」にすることの意味や価値をみんなで一生懸命考えていました。5年2組のみなさんの意見や考えを聞きながら一緒に授業を受けていると一編の詩を思い出しました。宮澤章二さんの「行為の意味」という詩です。知っているでしょうか。紹介します。

行為の意味

宮澤 章二

あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも 他人にも心は見えない
けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
「心」も「思い」も、初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ

疲れが溜まっているときこそ、お互いに「思いやり」をもって、支え合いながら何事にも取り組んでいきたいものです。いよいよ今週末は体育祭！保護者・地域のみなさんの声援も児童生徒たちの大きな支えとなります。どうぞよろしく願いいたします。

体育祭へ向けてのひとコマ



団長の二人が全体の前で。背中も少しずつ頼もしくなってきましたね。



応援で使う和太鼓に興味津々の児童生徒のみなさん。叩きたくなりますよね。

想青学園 欠席・遅刻・早退 連絡フォーム

QRコードを読み取って、必要事項を入力してください。

